

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2024年 6月 1日 ~ 2025年5月 31日
発行日 2025年 6月20日



「建設を通して、地域とともに」

森田建設株式会社

環境経営レポート 目次

1. 事業所の概要	P. 1
2. 対象範囲	P. 1
3. 環境管理体制	P. 2
4. 環境経営方針	P. 3
5. 基準年の環境負荷と環境経営目標	P. 4
6. 環境経営計画の内容	P. 5
7. 環境経営計画、環境経営目標の実績及び 環境経営計画の取組結果とその評価	P. 6
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	P. 7
9. 環境関連法規等の遵守状況及び評価 並びに違反、訴訟等の有無	P. 8
10. 代表者による全体評価と見直しについて	P. 9
11. その他（教育・地域活動）	P. 10～11

1. 会社概要

事業所名

森田建設株式会社
Morita Kensetsu Co., Ltd.

代表者名

代表取締役 森田 泰

所在地

〒230-0012
神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目18番15号

TEL/FAX
URL

Tel. 045-581-3631 Fax. 045-581-3615
<https://www.morita-kensetu.co.jp>

環境管理責任者

管理責任者 代表取締役 森田 泰
EA21事務局 大友
部門責任者 (工事部) 浅野
(総務部) 森田(麻)

事業内容

建設業(建築工事業・解体工事業)

設立

昭和55年10月15日

従業員数

10名(令和4年5月現在)

資本金

2,000万円

売上高

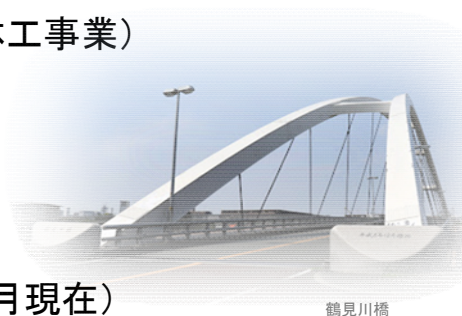
99,300万円(令和6年5月現在)

本社延床面積

272 m²

許可業種

建築工事業	石工事業	塗装工事業
鋼構造物工事	屋根工事業	防水工事業
解体工事業	鉄筋工事業	内装仕上工事業
大工工事業	板金工事業	熱絶縁工事業
左官工事業	ガラス工事業	建具工事業
とび・土工工事	タイル・れんが・ブロック工事業	



鶴見川橋

登録

神奈川県知事許可(特定)第31452号

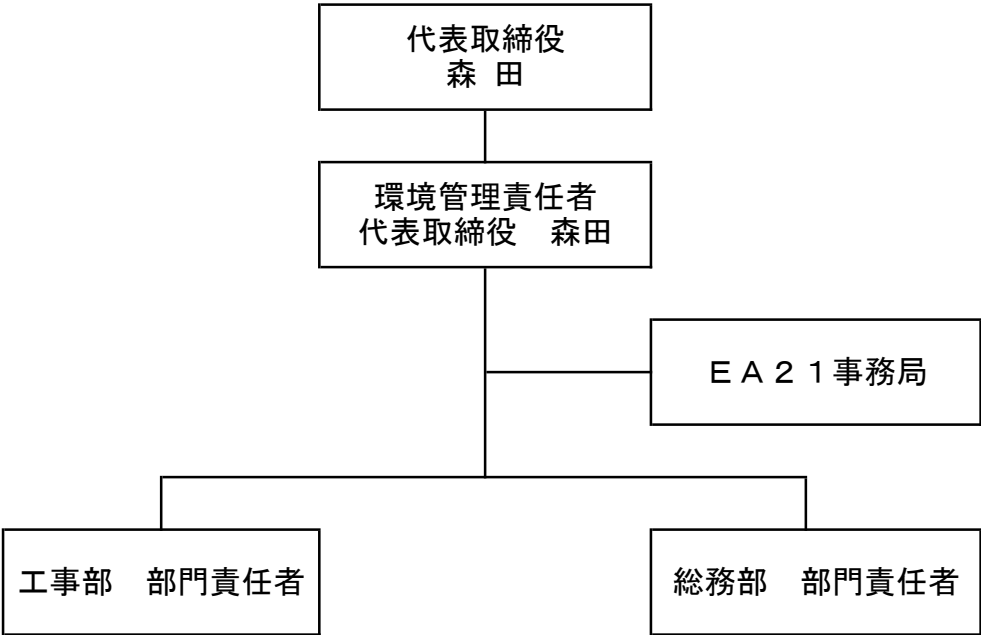
主な資格者

一級建築施工管理技士	一級建築士
二級建築施工管理技士	二級建築士
二級土木施工管理技士	
二級建設業経理事務士	

2. 対象範囲

全組織・全活動

3. 環境管理体制



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 経営における課題とチャンスの明確化 3. 環境方針の制定 4. 環境経営システムの実施及び維持・管理に必要な経営資源の準備 5. 環境経営システムの定期的な見直しの実施 6. 社内情報の外部公開可否決定 7. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 推進機関「E A 2 1 E M S」の事務局責任者として事務局運営 3. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育・訓練を適切に計画、実施 4. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 5. 環境活動レポートの確認
E A 2 1 事務局	1. 代表者（管理責任者）への環境経営システムの実施状況報告 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の策定・作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連文書及び環境活動レポートの作成・整理・代表者（管理責任者）への報告
部門責任者	1. 自部門に関連する環境活動計画の実施、維持及び達成状況の報告 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応 3. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 4. 現場単位での管理体制 関連する環境活動計画の実施、維持及び達成状況の報告
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。

4. 環境経営方針

環境理念

森田建設株式会社は、地域との共生を図り、大切な自然を次世代に引き継ぐため、社員一人一人が事業活動を通じて環境保全の重要性を認識して環境経営に取り組み、低炭素社会の実現と地球温暖化防止に配慮した活動を会社一丸となって取り組みます。

基本方針

1. 電気・ガソリン・軽油等の省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 事業所及び現場での一般廃棄物は、できる限り分別しリサイクル処理に努め廃棄物発生量を削減します。
3. 節水に努め、排水量を低減します。
4. 産業廃棄物のリサイクル率の向上に努めます。
5. 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 環境経営システムを効果的に運用し環境保全の向上に努め、システムの継続的改善を図ります。
7. 環境に関連する 法規則・条例等を遵守し、環境配慮に務めます。
8. 建設現場において環境に配慮した工法・製品及びサービスに努めます



制定日 2020年 12月 1日
改定日 2024年 10月 2日



森田建設株式会社

代表取締役 森田 泰

5. (基準年の環境負荷と)環境経営目標

環境目標	サイト 区分	単位	基準年(実績)	年度目標	中長期目標				
			令和元年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
			R1年6月～ R2年5月	R6年6月～ R7年5月	R7年6月～ R8年5月	R8年6月～ R9年5月	R9年6月～ R10年5月	R11年6月～ R12年5月	
				1.5%削減 (又は向上)	1.6%削減 (又は向上)	1.7%削減 (又は向上)	1.8%削減 (又は向上)	1.9%削減 (又は向上)	
1. 二酸化炭素 排出量の削減	全社	CO2総量 Kg-CO2	65,357	64,377	64,311	64,246	64,181	64,115	
①電気 使用量 の削減	本社	電力使用量 kWh	17,439	17,177	17,160	17,143	17,125	17,108	
		CO2 Kg-CO2	7,935	7,816	7,808	7,800	7,792	7,784	
	現場	電力使用量 kWh	49,262	48,523	48,474	48,425	48,375	48,326	
		CO2 Kg-CO2	22,414	22,078	22,056	22,033	22,011	21,988	
②ガソリン 使用量 の削減	本社	ℓ	3,025	2,980	2,977	2,974	2,970	2,967	
		CO2 Kg-CO2	7,018	6,913	6,906	6,899	6,892	6,885	
	現場	ℓ	5,222	5,143	5,138	5,133	5,128	5,123	
		CO2 Kg-CO2	12,115	11,933	11,921	11,909	11,896	11,884	
③軽油 使用量 の削減	現場	ℓ	6,053	5,962	5,956	5,950	5,944	5,938	
		CO2 Kg-CO2	15,617	15,382	15,367	15,351	15,336	15,320	
④灯油 使用量 の削減	現場	ℓ	104	102	102	102	102	102	
		CO2 Kg-CO2	259	255	255	255	254	254	
2. 一般 廃棄物 排出量 の削減	全社	排出量 ℓ	9,630	9,486	9,476	9,466	9,457	9,447	
3. 水使用量 の削減	全社	水使用量 m³	705	694	694	693	692	692	
4. 産廃 リサイクル 率の向上	現場	リサイクル率 %	51.0%	51.8%	51.8%	51.9%	51.9%	52.0%	
5. 地域 貢献活動 の推進	全社	回	2	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	

※CO2排出量は東京電力調整後排出係数 0.457kg-CO2を使用(2021年1月末～「みんな電力」へ移行)

※当社は化学物質は扱っていない。

6. 環境経営計画の内容

当社の環境保全のに向けた具体的な取り組みの内容を以下に示します。

1. 二酸化炭素排出量の削減

環境活動計画	取組み内容
① 電気使用量の削減	1. 照明・PCの不要電力の消費抑制 2. 空調設備の温度設定管理とエアコンの点検・清掃
② ガソリン、軽油使用量の削減	1. エコ運転の推進（急発進、急加速、急ブレーキの削減） 2. 停車時のアイドリングストップ
③	3. 定期的な車両整備の実施（オイル交換、タイヤ空気圧の適正化） 4. 工事用発電機の稼働において、必要量に応じながら利用を最小限に抑える
④ 灯油使用量の削減	1. 暖房温機器の温度設定管理・清掃

① 電気使用量の削減

1. 照明・PCの不要電力の消費抑制

2. 空調設備の温度設定管理とエアコンの点検・清掃

②

ガソリン、軽油
使用量の削減

1. エコ運転の推進（急発進、急加速、急ブレーキの削減）

2. 停車時のアイドリングストップ

③

3. 定期的な車両整備の実施（オイル交換、タイヤ空気圧の適正化）

4. 工事用発電機の稼働において、必要量に応じながら利用を最小限に抑える

④ 灯油使用量の削減

1. 暖房温機器の温度設定管理・清掃



2. 一般廃棄物排出量の削減

環境活動計画	取組み内容
① 廃棄物の削減	1. 事務所ゴミ分別を徹底し、リサイクルに努める 2. ペーパーレスの推進（メールの活用、データの電子化） 3. 使用済み紙の再利用（コピー裏紙、封筒、ファイルの再利用）

① 廃棄物の削減

1. 事務所ゴミ分別を徹底し、リサイクルに努める

2. ペーパーレスの推進（メールの活用、データの電子化）

3. 使用済み紙の再利用（コピー裏紙、封筒、ファイルの再利用）

3. 水使用量の削減

環境活動計画	取組み内容
① 水使用量の削減	1. 節水意識の喚起 2. 節水表示板の設置

① 水使用量の削減

1. 節水意識の喚起

2. 節水表示板の設置



4. 建設産業廃棄物リサイクル率の向上

環境活動計画	取組み内容
① 建設産業廃棄物リサイクル率の向上	1. 産業廃棄物分別の徹底 2. 廃棄物排出量の把握 3. マニフェストの発行（電子マニフェスト以外は横浜市に報告）

① 建設産業廃棄物 リサイクル率の向上

1. 産業廃棄物分別の徹底

2. 廃棄物排出量の把握

3. マニフェストの発行（電子マニフェスト以外は横浜市に報告）



5. 地域貢献活動の推進

環境活動計画	取組み内容
① 地域貢献活動	1. 近隣・公園の清掃 2. 地域の防犯活動への参加

① 地域貢献活動

1. 近隣・公園の清掃

2. 地域の防犯活動への参加



7. 環境経営計画、環境経営目標、取組結果とその評価

環境活動計画(取組み内容)

期間(2024年6月1日～2025年5月31日)

環境活動計画		場所	前年実績 目標値1.13%減	環境目標 1.5%削減	実績	達成 区分	取り組み評価・達成の要因	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO2)			36,261	64,377	56,049	○	再生電力の使用による CO2排出の削減	
①	電気使用量の削減 1. 不要電力の消費抑制 2. 空調温度設定・清掃	本社 (kWh)	16,719	17,177	16,003	○	・エアコンの温度調節 ・電源管理の徹底 (是正有)	
		現場 (kWh)	44,905	48,523	75,060	×		
②	ガソリン使用量の削減 1. エコ運転の推進 2. アイドリングストップ 3. 定期的な車両整備	本社 (ℓ)	2,050	2,980	3,102	×	・車の乗り合い乗車 ・渋滞時を避けた移動 ・ナビを活用し 最短経路を利用	
		現場 (ℓ)	3,910	5,143	3,632	○		
③	軽油使用量の削減 1～3. ガソリンと同じ 2. 発電機の利用を抑える	現場 (ℓ)	882	5,962	1,091	○	・現場の発電機をエコ仕様 のものに変更 ・自社ダンプの出動が少な かった	
④	灯油使用量の削減 1. 暖房機器温度設定・清掃		66	102	0	○		・灯油ストーブの使用を 制限
2. 一般廃棄物排出量の削減			全社 (ℓ)	8,120	9,521	9,960	×	排出量は増えたが ゴミの分別を徹底し リサイクル率は向上 している (是正有)
①	1. 事務所ゴミ分別 2. ペーパーレスの推進 3. 使用済み紙の再利用							
3. 水使用量の削減(上水道のみ)			全社 (m³)	472	694	625	○	・節水意識の向上 ・工事規模・内容の違い により使用料を抑えら れた
①	1. 節水意識の換気 2. 節水ポスターの設置							
4. 建設産業廃棄物リサイクル率 の向上			現場 (%)	57.6%	51.8%	57.2%	○	・解体工事の容量 が少なかった ・現場での分別の徹底 が出来ている
①	1. 産業廃棄物分別の徹底 2. 産廃排出量の把握 3. マニフェストの発行							
5. 地域貢献活動の推進			全体	2回	2回以上	2回以上	○	・定期的な清掃活動 防犯活動に取り組ん でいる
①	1. 近隣・公園の清掃 2. 地域の防犯活動への参加							

承認	作成
森田	大友

8. 次年度の環境経営目標、及び環境経営計画

環境活動計画(取組み内容)

期間(2025年6月1日～2026年5月31日)

環境活動目標			基準値 令和元年度	令和7年度 環境目標 1.6%減または増	担当	次年度の取組み内容
1. 二酸化炭素排出量の削減			65,357 Kg-CO2	64,311 Kg-CO2		
①	電気使用量の削減	本社	17,439 kWh	17,160 kWh	大友	1. 不要電力の消費抑制 2. 空調温度設定・清掃
		現場	49,262 kWh	48,474 kWh	浅野	
②	ガソリン使用量の削減	本社	3,025 L	2,977 L	大友	1. エコ運転の推進 2. アイドリングストップ 3. 定期的な車両整備
		現場	5,222 L	5,138 L	浅野	
③	軽油使用量の削減	現場	6,053 L	5,956 L	浅野	1～3. ガソリンと同じ 2. 利用を必要最小限に抑える
④	灯油使用量の削減	現場	104 L	102 L	浅野	1. 暖房器具の温度設定・清掃
2. 一般廃棄物排出量の削減		全体	9,630 m ³	9,476 m ³	大友	1. 事務所ゴミ分別 2. ペーパーレスの推進 3. 使用済み紙の再利用
3. 水使用量の削減		全体	705 m ³	694 m ³	大友	1. 節水意識の喚起 2. 節水表示の設置
4. 建設産業廃棄物 リサイクル率の向上		現場	51.0 %	51.8 %	大友	1. 産業廃棄物分別の徹底 2. 産廃排出量の把握 3. マニフェストの発行
5. 地域貢献活動の推進		全体	2回	2回以上	大友	1. 近隣・公園の清掃 2. 地域の防犯活動への参加

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）	確認 または該 当なし	確認日 2025年
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理、産業廃棄物（汚泥、金属クズ、廃プラ、廃油等）マニフェストの交付	○	6月1日
建設リサイクル法	特定建設資材リサイクル	○	6月1日
容器包装 リサイクル法	容器包装廃棄物の適正処理	○	6月1日
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処理	○	6月1日
小型家電 リサイクル法	使用済み小型電子機器の適正処理	○	6月1日
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検、管理 冷媒用フロンの適正回収、破壊の措置	○	6月1日
建築基準法	石綿含有物の使用禁止、内装仕上げ材	○	6月1日
騒音・振動規制法	特定建設業、適応指定地域 （横浜市生活環境保全条例適用）	○	6月1日
下水道法	公共下水道への排水、排水基準の遵守	○	6月1日

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年ありません。
※法規改正については各工事開始時に随時確認

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価年月日：令和7年6月20日

物価上昇、資材の調達が困難な状況が続いているが
環境経営では全ての項目でほぼ目標達成している
今後も継続的に環境経営活動に取り組む成果を上げていきたい。

見直し、変更指示に関しては以下の通りである。

森田建設株式会社
代表取締役 森田 泰

項 目	必要に応じて評価・コメント
1. 環境経営目標及び目標達成状況	工事規模も年々大きくなり、資材調達、人員確保も一段と厳しくなっているなか、社員が一丸となり取り組みを継続している 今後も工夫をしながら環境経営に取り組んでいきたい
2. 環境経営計画及び取組実施状況	
3. 環境関連法規要求位一覧 及び遵守状況	本社及び各工事において、法規の遵守はできている 法規の改正に注意すること
4. 外部コミュニケーション・対応記録	環境関連の苦情無し

見 直 し 項 目	変更の 必要性	【有】の場合の指示事項
1. 環境管理体制	有 ・ ☒ 無	
2. 環境経営方針	有 ・ ☒ 無	
3. 環境経営目標	有 ・ ☒ 無	
4. 環境経営計画	有 ・ ☒ 無	
5. その他	有 ・ ☒ 無	

社内教育	承認	作成
	森田	大友

活動目的	建設のフロン排出抑制法について知る（全体） 現場内の安全管理と品質管理（各現場）
実施日：	現場 R6年12月 全体 R7年5月
場所	森田建設本社と各現場
参加者	全社員と現場単位

内容

【全体】・フロン排出抑制法に関するパンフレットの配布



【現場】・現場内の安全、環境パトロール ・品質管理会議



地域活動の記録		承認	作成
		森田	大友
活動目的	・ 近隣の清掃 → 回収したゴミの分別 → 適切な処分		
	活動期間： 2024年6月～2025年5月		
活動場所	ひかりが丘住宅（横浜市旭区）		
参加者	現場担当職員		
活動内容	現場地域の清掃 2024年12月25日		
工事件名 ひかりが丘住宅第5期住戸改修その他工事(第5工区建築工事) 工 種 共通仮設工事 種 別 各協議実施 細 別 現場敷地内外 一斉清掃実施状況 撮影年月日 2024/12/25 施 工 者 森田建設株式会社  清掃活動を通して地域に貢献する（集めたゴミを分別し適正に処分する） 工事件名 ひかりが丘住宅第5期住戸改修その他工事(第5工区建築工事) 工 種 共通仮設工事 種 別 各協議実施 細 別 現場敷地内外 一斉清掃実施状況 撮影年月日 2024/12/25 施 工 者 森田建設株式会社 			